

●主な内容●

消防団出初式
区長会総会
移住定住&空き家対策
協力隊活動報告会
確定申告

15 14 6 4 3

川上宣言

一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。
毎号1項目ずつ掲載していきます。)

若者の新たな門出を祝福!
はたちを祝う会……2P

社会の一員としての抱負と、これまでの感謝 はたちを祝う会



すが はやと 菅 隼人 さん

なかひら かなた 中平 叶太 さん

ばば はると 馬場 陽大 さん

しもい ゆづき 下井 柚月 さん

ゆば ゆきこ 弓場 有希子 さん

ひらお にいな 平尾 仁奈 さん

なかむら めぐみ 中村 恵弥 さん

1月13日（月・祝）、ホテル杉の湯にて、令和6年度川上村はたちを祝う会が執り行われ、7名の「はたち」を迎える若者が出席しました。来賓や恩師、家族に見守られる中、若者たちは晴れ着に身を包み、新たな門出を迎えられました。

式典では、中学校時代の生徒会副会長の中村恵弥さんが代表して誓いの言葉を話されました。これまで支えてくれた家族をはじめとする方々への感謝やこれからの抱負を力強く立派に誓われました。式典終了後には、お祝いの懇親会が行われ、若者たちは近況報告

とこれからの将来について、たくさん話してくれました。



「はたち」を迎え、立派な姿を見せてくれました

また、小・中学校時代の恩師である柳井先生、山田先生、奥村先生からお祝いの言葉、佐々岡先生からのメッセージが披露されました。まだ子どもだった頃の懐かし思い出話に少し恥ずかしそうにしながらも、会場はたくさんさんの笑顔に包まれました。将来は育ってきた川上村で仕事に就きたいと話す方もおられました。この先、長い人生を歩む中で、活躍の場は違えど、それぞれの夢を掴み、明るい未来を切り開いてもらいたいと願っています。

匠の聚芸術家がゆく！ 出張生涯学習教室

教育委員会では、村民の趣味や生きがいづくりの場を提供し、住民同士の交流を目的とするさまざまな生涯学習教室を開催しています。そのひとつとして、公民館などに匠の聚の芸術作家が講師として出向き、区民を対象に制作体験を行う出張教室があります。

今年度は、2地区から要望を受け白屋公民館で鈴木雄一郎・智子先生によるミニ植木鉢づくり教室、高原多目的集会所で岸上ゆか先生による絵手紙づくり教室を実施しました。

参加した村民の方は、真剣に作品制作に取り組み、完成後は講師の先生方と作品について楽しく話をしていました。



世界に一つだけのミニ植木鉢が完成

地域住民の生命と財産を守る

令和7年 川上村消防団出初式

1月6日（月）、やまぶきホールにて、川上村消防団出初式が挙行されました。栗山秀夫団長の指揮のもと、消防団員100名・消防車両15台が集結しました。

栗山団長は訓示で、「昨年は大きな台風が接近したが、幸いにも被害はなかった。消防団員はいろいろな場合にも迅速な対応が求められる。今後もより一層の訓練・啓発を通して、地域の安全に尽くしてもらいたい」と団員に対し日頃の感謝とエールを贈られました。

優良消防団員に対し、村長・団長からの表彰、吉野警察署長から感謝状の贈呈、また、同19日（日）に開催された奈良県消防協会連合会出初式にて表彰された団員の紹介がありました。

そして、昨年11月29日（金）に執り行われた「自治体消防75周年記念式典」にて、天皇陛下ご臨席のもと、栗山団長が自治体消防功

労者として石破茂内閣総理大臣より表彰を受けられたことの報告がありました。



表彰を受ける優良消防団員

式典終了後には、2年ぶりとなる放水訓練が行われました。少し雨が降る中ではありますが、指揮者の号令のもと一斉に放水が始まり、新春を飾る素晴らしい出初式となりました。



団員の機敏な動作に拍手が起きました

表彰者一覧（敬称略）

◆村消防団出初式

《村長表彰》

第2分団	班長	橋本 和浩
第8分団	団員	下西 洋三
第4分団	団員	亀井 裕二
第5分団	団員	田野 雄大

《団長表彰》

第5分団	副分団長	青柿 仁士
第1分団	団員	竹中 雅幸
第7分団	団員	菅 義浩
第3分団	団員	加藤 満

《警察署長感謝状》

第6分団	分団長	松本 隆昭
第3分団	部長	上村 克己

◆吉野支部連合出初式

《知事表彰》

第5分団	部長	玉井 勝
第1分団	団員	久保 金也

《協会長表彰》

第3分団	団員	新宅 晃
本部	団員	辰巳 龍三

《支部長表彰》

第6分団	班長	横堀 寛人
第7分団	団員	大石 篤史
第2分団	団員	安田 芳裕
本部	団員	栗山 貴大

人権擁護委員の

皆さままで

川上村人権擁護委員

橋本 しま子 氏
はしもと こ

朝町 葉子 氏
あさまち ようこ

※令和6年12月31日をもって、森口源次氏が任期満了、退任されました。これに伴い、令和7年1月1日から朝町葉子氏が就任されました。

人権擁護委員とは、川上村が推薦し、法務大臣から委嘱された方々です。地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるように啓発活動を行っています。

毎年6月と12月には、人権相談所も開設しております。お気軽にご相談ください。

7名の新区長が就任

区長会総会を開催

1月27日（月）、役場第1会議室にて、令和7年区長会総会が行われました。

総会に先立ち、10年以上の永きにわたり区長を務めていただいている中谷千鶴子区長（上谷）に対し、泉谷村長から永年区長特別表彰の感謝状が贈られました。

今回、新区長として7名の区長が新たに就任されました。そして区長会長には、4年間（2期）務めていただいた山本強区長（瀬戸）が退任され、辰巳八郎区長（大滝）が就任されました。

全区長の名簿は下表のとおりです。今年1年間、よろしく願っています。



就任の挨拶をされる辰巳新区長会長

大字	氏名	備考
東川	上平 賢次	
西河	高貝 忠明	副会長
大滝	辰巳 八郎	会長
白屋	亀本東洋和	理事
寺尾	伊藤 宗寛	
北塩谷	大西 一男	理事
迫	栗山 秀夫	理事
宮の平	上垣 功	副会長
高原	井筒 大勝	
人知	福岡 健二	
井戸	新加藤 理恵	
武木	新松井 壽	
井光	加藤 政博	理事
下多古	新玉井 龍一	
白川渡	新松本 隆昭	
粉尾	春増 公文	副会長
中奥	新勢渡 正文	
瀬戸	山本 強	理事
北和田	新上林 哲士	
神之谷	諏訪久美子	
上多古	栢本 仁美	理事
柏木	新嶋岡 慶道	
上谷	中谷千鶴子	
大迫	土井 一成	
伯母谷	山本 逸朗	
入之波	中平 寛司	

大阪工業大学による

川上村

PRコンテンツ

優秀作品表彰式



今回も数多くの学生が応募してくれました

1月14日（火）、大阪工業大学枚方キャンパスにて、同大学情報メディア学科3年生が制作した「川上村PRコンテンツ」の優秀作品の表彰式が行われました。

本村と同大学は、平成22年に「連携・協力に関する協定」を締結しており、その事業の一環として、映像や音声などを組み合わせるマ

ルチメディア技術を駆使し、村の観光や取り組みをPRする作品を制作するものです。若者の感性を地域活性化に役立てることを目的に課題解決型学習として行われており、今年度で13回目を数えます。今回は全85作品という多数の応募があり、実際に村を訪れて撮影し、制作された作品も多くありました。その中から優れた5作品を制作した学生に対し、泉谷村長から表彰を行いました。

表彰された作品については、村ホームページなどに掲載する予定となっております。村のPRに使用させていただきます。



受賞者の皆さんと金賞作品

新雪でふかふかの

銀世界を滑走！

7・8年生 スキー教室



初めて乗るリフトに大苦戦！

1月2日（木）から6日（月）まで、長野県梅池高原スキー場にてスキー教室を開催し、かわかみ源流学園7・8年生10名が参加しました。

今年はスキー未経験者の生徒が多い年でしたが、現地では年末から充分な雪が降り、ゲレンデは絶好のコンディションとなりました。子ども達は、こけることを恐れず練習することができました。



大満足の3日間でした！

最終日には、頂上にある梅の森ゲレンデからの滑走にチャレンジし、「絶対無理」「止まらない」など絶叫しながらも、なんとか無事に滑りきることができました。

また、コブだらけのコースや小さいジャンプ台など障害物に積極的にチャレンジし、楽しんでいました。

教育委員会では、学校教育と社会教育の連携事業を含め、さまざまな事業を実施し、生涯スポーツ等への理解を深めつつ、社会的規範や人格形成に役立つことを期待し、さまざまな事業に取り組みます。

～シリーズ～ 「共に生き ともに歩もう 認知症」

今回は、認知症の人がその人らしく、自分がしたいことを自分で選択できる関わり方についてお伝えします。

『認知症』と診断された途端、今までできていたことを周囲から制限され、ストレスや生きづらさを抱える人はとても多いです。「火事になるから料理はしなくていい」「ケガをするから外にでなくていい」。そうやって周囲が先回りすることで、本来自分でできることもどんどん奪われていく。そして、自分の意志とは異なる生活を余儀なくされた結果、自信を失い、自発性が封じ込められたり、自分らしく生きることをあきらめたりする当事者がたくさんいます。

ですが、誰かのために何かをすることで、自分の価値を再認識できたり、自分はここにいてもいいんだと思える機会になったりします。

大切なことは、社会や仲間とのつながりが切れないこと。また、自分が望めば、その人なりの役割を担えることなのです。それはつまり、認知症であっても、地域に生きる1人の人として、ごく当たり前で生きることにほかならないのです。川上村でも、年齢にかかわらず、村民一人ひとりが認知症を自分ごととして理解し、自分自身や家族が認知症であることを周囲に伝え、自分らしい暮らしを続けていくためにはどのようなことができるか、皆さんとともに考えていきましょう。



【問い合わせ先】健康福祉課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

シリーズ

役場の移住定住

& 空き家対策



1月号から3か月にわたり、移住定住&空き家に関する「村の取り組み」と「理由」をお伝えしていきます。第2回は空き家対策に関する取り組みについてです。

◆ 空き家の状況を

ご存知ですか？

村内の空き家の状況について、平成28年の調査では、村全体で377件の空き家があることが確認されています。

確認された空き家のうち、状態のよい空き家は「賃貸」や「売買」を通じて活用に至ったものもあります。また、傷みが激しい空き家は、持ち主（相続人を含む）へのお知らせや解体の依頼を通じて、令和3年以降12棟の解体が進み、補助金として村が解体を支援しました。

一方で、昨年の10月には、村内で空き家の倒壊が起きました。所有者の相続人の方と解体に向けた調整を行っている最中でのでき事でした。最終的に解体に至りましたが、相続人の方は空き家を相続した事実も知らず、突然の相続人である事実を知り、解体交渉・倒壊など、気持ちの整理や費用面を含め大変なご苦労があったと思います。

空き家の管理は持ち主の責任ですが、関心がない人や、相続の事実を知らずに、そもそも持ち主である認識がない方も少なくありません。

◆ 役場は

何をしているの？

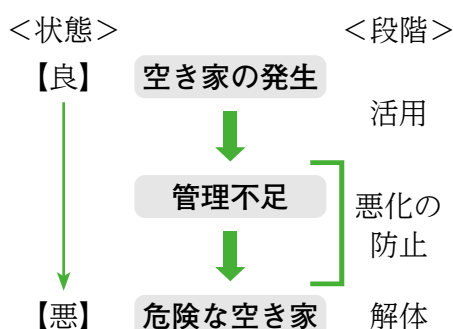
- ① 「調査」…村の空き家の状況を定期的に調査。
 - ② 「活用」…空き家を貸したい人、借りたい人をつなげるお手伝い（空き家バンクの運営）。
 - ③ 「管理のお願い」…調査にもとづき、危険な空き家を認定し、持ち主の調査や情報提供、管理・解体の依頼。
 - ④ 「補助金」…空き家の持ち主が負担する解体費用の一部を補助。
 - ⑤ 「相談会の開催」…所有している家の不安ごとの相談に対応。
- ※今後、空き家の改善に向け、さらに踏込んだ対応や、村民の皆さまの安全を踏まえた対策を考えていきます。

◆ 最後に

家は個人の財産ですが、管理ができなくなった際、相続の際など、状況の変化で将来の負の財産となります。ご不安事があればご親族や役場と話ししましょう。

次回は法改正での注意点や活用に向けた取り組みをご紹介します。個人の義務にも触れるので是非ご覧ください。

空き家の状態と段階



空き家・自宅の将来
「相談会」開催！
詳しくは14ページ



◆オトナの見学さんぽの

驚くべき効果

健康福祉課では今年度、「オトナの見学さんぽ」を企画、大好評のうちに全日程を終了しました。先着申込にもれた方々は申し訳ありませんでした。内容は、①介護予防に関する専門職のミニ講座、②起伏あるコースのウォーキングによる健康づくり、③コースを案内してくれるガイドと一緒に楽しく実施する、という6回シリーズでした。

効果を紹介したいのですが、シリーズ実施前と最終回の体力測定では、半数以上の方に歩行能力の向上が確認されています。あわせて筋力については、ほとんどの人で上肢下肢とも維持されていることも分かりました。距離的にもコース的にも、決して楽ではありませんが、結果を見ると、やっぱり歩いた甲斐はあるものですね！自分ひとりでは歩かないよ



なあ…と思う距離も、みんなと一緒に笑いなगरだど、あつという間の1時間です。

その他参加者の感想は、名前も知らなかった人とも仲よくなれた、とか、知らないところをガイドと一緒に歩く知的わくわく感とか、新鮮さを評価いただいています。ココロとカラダ、アタマもほどよく活性化されたようですね。



飛鳥坐神社に移築された丹生川上神社の旧社殿を訪ねました

◆いきいき筋力維持&アップ！ プラス笑いで免疫力も向上

筋力と免疫力アップに関する実演付き講演会を、3月に企画します。詳しくは広報折込チラシをご覧ください。仲間と取り組むことは、体力の維持向上に大きなちからになりますし、笑いが健康に好影響を与えることは広く知られています。住み慣れた場所で自分らしく、なるべく長く過ごすための土台となる心身の健康に、改めて注目しませんか。ぜひお申込ください！（健康福祉課）

かわかもんがゆく。

―地域おこし協力隊活動記―



年男の島崎です。地域おこし協力隊任期も残すは1か月と少しになりました。

4年前、林業の仕事を探している時に縁あって川上村のことを知りました。当時吉野林業という言葉は知っていましたが、正直言いますと川上村の名前は知りませんでした。（関東出身なのでお許しください。）

協力隊として活動始める少し前に、実は川上村が吉野林業の中心地だと知りました。活動を始めてからは川上村で500年ほど歴史のある林業に触れ、山守制度のことや樽丸、筏、キンマ道、修羅等、現存していることから今では見られないことまで、知れば知るほどこの村における林業の産業・歴史的魅力にハマっていききました。

活動は作業道開設が主でしたが、樹齢約200年、直径1メートル樹高30メートル近くの古木伐りの現場に行く機会もあり、バン、バン、バンと200年間体を支えた繊維が破裂音をあげ倒れる光景は大迫力でした。

また最近では、木口の色や年輪の詰まり具合、目割れの有無等、木の良し悪しをベテラン山行きさんからの受け売りで、林業を知らない人に我知り顔で語り、得意になる時もあります。自分が伐った木や関わった木が市場にかけられ値が付くのも感慨深いものがあります。「この木、伐る時は結構大変だったけど安いんだな」と思ったりします。

過ぎてみればあつという間の3年間でした。4月からは支援員として活動していきます。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

島崎靖章（粉尾）



教育の風

教育の風は、川上村の教育の様子を伝えるコーナーです。

学校教育・社会教育・社会体育・文化財……。教育は広範囲に渡りますが、この風に乗せて川上村の教育の良き「におい」が伝わることを願っています。

◆村の文化財物語

「明神滝岸壁植物群落」 村指定有形文化財〈天然記念物〉 平成13年11月28日指定



川上村南東部の三重県との県境近く、吉野川の源流部には、村が源流を守ることを目的に管理している天然林があります。この天然

林に添うように、しぶきをあげる滝が「明神滝」です。

滝やその岸壁については、江戸時代の「大和名所絵図」にも描かれています。この岸壁にはミセバヤなどが自生し、春や秋には各種の植物が群生しています。

入山が制限されています。お問い合わせは森と水の源流館（TEL 52・0888）まで。

◆かわかみ源流学園の教育を支えるスクールバス

かわかみ源流学園の児童・生徒の87%はスクールバスを利用して通学しています。現在は入之波・北和田線、中奥・井光線、白屋・高原線、東川線の4路線があります。また、登下校以外にも特別運行として、校外学習や学校行事を行う場所への送迎、部活動練習や部活動の大会参加のための送迎等、かわかみ源流学園の教育を進めて行く上で欠くことのできない大切な存在です。

スクールバスの運転手は安全運行のために朝早くから責任を持って運行前点検を行う等児童・生徒

が楽しく・うれしく学校生活を送れるように努めています。

◆サンドアート『月ノ影』特別公演が開催されました

令和6年12月21日（土）、川上クリスマス劇場と題しサンドアート&音楽ライブ『月ノ影』特別公演が開催されました。

出演者はサンドアート集団S-I LT代表の船本恵太さんとピアノストの石田ユキさんです。



石田ユキさん（左）、船本恵太さん（右）

サンドアートとは、文字通り砂で色々な物を作る芸術の総称です。今回の公演で行った内容は、

音楽に乗せて色々な絵を描く「サンドアートパフォーマンス」と呼ばれるものになります。

ピアノ演奏に乗せて次から次へと絵が変化していく様子は、観客を魅了し、夢中にさせる……まさに変幻自在の芸術です。

砂を使うという特性上全く同じ作品はなく、その時、場所によれば見ることでできない一期一会のアートになります。また、身近にある砂という素材で作品を描き、作るのも、道具がいる油絵やCGと比べるとお手軽に始めやすい芸術ではないでしょうか。



サプライズで描かれた山幸彦くん

○雪遊び

1月10日（金）、運動場にも雪が積もり、子どもたちが雪遊びを楽しみました。小さい子たちは大喜びで、雪合戦や雪ダルマなど、思い思いの遊びができ、とても満足したようです。雪の降る日が少ないので、雪に親しむ良い機会になりました。



○校内カルタ会

1月14日（火）、7、9年の生徒が、恒例の百人一首かるたの大会を行いました。試合は3コートに分かれて、13分間ずつ5回戦まで行いました。毎年やっているの、生徒たちはよく歌を覚えており、上の句を聞いて素早く下の句の札を取って



いました。古典に親しむよい機会となりました。

○遊びの日

1月16日（木）、お昼の時間に園児・児童・生徒がみんなで「進化じゃんけん」をして遊びました。じゃんけんに勝てば、ヒヨコからウサギそしてキリンになり、負ければ戻っていきま



○防犯教室

1月20日（月）、5、9年生を対象に、防犯教室を開催しました。吉野警察署スクールサ



ポーターの内田様から、闇バイトや大麻、ネット被害など、さまざまな危険についてお話いただきました。犯罪に巻き込まれない生活を考える機会となりました。

○少林寺拳法講習会



1月23日（木）、5・6時間目に、7、9年の体育で、少林寺拳法講習会を行いました。ご指導は日本を代表する指導者の井戸家正旺先生と浅芝晴美先生です。襲われたときの対処法や人間の急所、「気」のエネルギーを吸収する呼吸法、自分を大切にするともに周りの人々も幸せにし、お互い助け合える人をめざすことを学びました。

○2月の行事予定

27 (木)	26 (水)	25 (火)	24 (月)	23 (日)	20 (木)	19 (水)	18 (火)	17 (月)	14 (金)	13 (木)	11 (火)	10 (月)	8 (土)	7 (金)	6 (木)	5 (水)	4 (火)	3 (月)	
一般出願～6日	期末テスト	特色発表	振替休日	天皇誕生日	放課後学習会	村教振研修会	駅伝練習	見守り隊立哨指導	SC・SSW	駅伝練習	建国記念の日	振替休日	授業参観・保護者会		駅伝練習	御朝拝式	駅伝練習	特色出願～13日	前期課程
							放課後学習会		数学検定						県内私学入試				後期課程

図書館だより

蔵書点検のため休館中です

図書館は蔵書点検のため2月6日（木）～2月28日（金）の期間中、休館しています。休館中の本の返却は正面玄関前の返却ボックスをご利用ください。

ご不便をおかけしておりますが、皆さまにはご理解とご協力をいただきありがとうございます。

なお、3月1日（土）より通常通り開館いたしますので、ぜひご利用ください。

蔵書点検とは…

図書館の本がなくなっていないか、本来あるべき場所にきちんと収められているかなど、館内全ての本を点検する作業です。その他にも利用しやすい棚を維持するために、場所の移動や整理整頓など、日常では行き届かない作業を集中して行っています。



図書館カレンダー

●色の日が休館日●

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

【お知らせ】図書館 DE トークを開催します！

地域おこし協力隊の和島^{わじまそうた}壮汰さんによるトークイベントを行います。併せて総合センター3階のギャラリーにて写真展を行います。

和島さんからのコメント

写真展『追懐（ついかい）』に関連して、ギャラリートークを開催します！当日は写真展のテーマや作品に込めた想い、撮影時のエピソードなどについてお話しいたします。また、川上村やその他の土地で撮影した写真を通して感じた『追懐』の魅力を、皆さまと共有できればと思います。ぜひご参加ください！

◆トークイベント

と き 3月22日（土）
ところ 総合センター2階 研修室
定 員 30名
申 込 右の二次元コードよりお申込みください→

じかん 午後1時30分～3時
参加費 無料



◆写真の展示

と き 3月16日（日）～4月16日（水）
※詳しくは今月号の折り込みチラシをご覧ください。

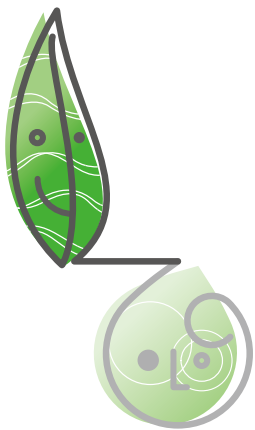


【問い合わせ先】 村立図書館 Tel 58-7006

ホームページURL : <https://www.vill.kawakami.nara.jp/life/library/>

ホームページにつながります→





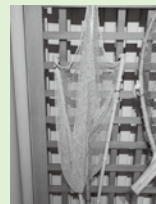
森と水の源流館だより

February, 2025 vol.267

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

昔の道具 其の貳拾参

「さぜ／さであみ」…2本の竹を交差させて袋状に網を張り、魚をすくいとる漁具。



◆森と水の源流館令和6年度調査報告会を実施しました

2月1日(土)やまぶきホール研修室にて実施した調査報告会について、まずは概要をお伝えします。

紀の川源流部に生息する大卵型カジカ

東北から近畿地域にかけての山間部に生息している大卵型のカジカは、生涯を淡水域で過ごす日本固有の魚類です。川上村は生息域が禁漁区として守られ、過去の記録も残されているので、カジカの保全や進化を考えるうえで大変重要な地域になります。三之公川における個体追跡の結果、当歳魚の確認や大型個体の再捕獲から年間のライフサイクルの一端が見えてきました。今後も調査を継続し、保全につないでいきたいです。

ニホンジカを利用した樹林更新

健康そうに見える水源地の森ですが、実は様々な問題を抱えています。顕著化している問題として、下層植生の衰退に加え、ナラ枯れが発生したことによって樹林更新が困難な状況となっています。2003年から継続している下層植生調査の結果やナラ枯れ発生要因について報告し、設置及び修復が容易な立体構造型小規模防鹿柵の必要性和、皆様の協力が必要であることを伝えました。

井光地区の秋祭りと森との関わり

川上村の森林・林業について京都大学農学部森林科学科の地域林業聞取調査実習で、井光地区の秋祭りについて調査したところ、衣食住、仕事、信仰などに森との関わりがみられました。調査にあたっては、吉野林業の制度、川上村の方言など予備知識が必要とされます。調査方法等は試行錯誤の部分もありますが、今回のような千本搦き体験や伝統文化にふれながらの聞き取りは、住民の方々が記憶を補完し合うことによって地域の活性化にもつながると感じる機会になりました。

地域住民の視点でみる川上村の自然

川上村自然観察研究会では村民が中心になって流域で活動しています。今年度は3回の例会を村内で開催しました。生きものの名前を覚えるだけでなく、植物ではズイナなどソハヤキ要素と呼ばれる面白い分布をするもの、ヤマブキやコクサギなど村内に多い石灰岩地を好むものなど、普段見ている風景にとけ込んでいる色々な生きものが川上村ならではのものであることを学んだことを発表しました。川上村の自然の価値を知ってもらい、仲間づくりを呼び掛ける良い機会になりました。

森と水の源流館周辺の自然

森と水の源流館からホテル杉の湯までの短い遊歩道は春には桜が楽しめ、普段は「豊かな海づくり大会～やまと～」の会場跡やシルバードラゴン、おおたき龍神湖を望めるビュースポットですが、あまり知られていません。蓄積してきた自然観察記録では、種子植物だけで175種を確認し、中にはタブノキやホウライカズラなど水没した旧上社境内にあった珍しい植物の子孫なども見られる場所になっています。今回は、みなさんに活用してもらえようとして観察マップを作ったことを報告しました。

かわかみ源流ツーリズムの 「ひとめぐりかわかみ」



1月11日(土)・12日(日)、インバウンド向けモニターツアーを実施しました。「水源地の森ツアー」と、東川で実施される「弓祝式」、西河での「古民家体験」や「柿の葉寿司作り」などが外国籍の方に魅力として感じてもらえるのかをモニタリングしていただきました。村が保全を決め、購入した「水源地の森」の環境や現状の課題について学んでいただき「ここはもっと見てもらったほうがいい」「海外のマガジンとコラボしては」という意見もいただきました。集落の人たちで守り伝える「弓祝式」に対する興味も高く、この日の参加者は大学の講師経験者で「留学生などは地元の人との交流が多いほど喜ぶ」という実体験も教えていただきました。これらの情報をまとめ上げ、今後のインバウンドを含め、日本人旅行者にも質の高い商品に磨き上げて、川上村への旅行者、体験プログラム集客へと繋げていきます。



とコラボしては」という意見もいただきました。集落の人たちで守り伝える「弓祝式」に対する興味も高く、この日の参加者は大学の講師経験者で「留学生などは地元の人との交流が多いほど喜ぶ」という実体験も教えていただきました。これらの情報をまとめ上げ、今後のインバウンドを含め、日本人旅行者にも質の高い商品に磨き上げて、川上村への旅行者、体験プログラム集客へと繋げていきます。

1月19日(日)には、奈良の平城宮跡にある「いざない館」にて「奈良の川上村のトビラ」を実施しました。一日まるごと川上DAYとし、6店舗が参加した特産品也大盛況でした。午前中「後南朝の歴史と『御朝拝式』」と題した講演会を開催。川上村朝拝式保存会理事の林茂久氏に出席をいただき、御朝拝式の歴史や携わる人々の思いを伝えることができました。「地元の方の強い思いに感動しました」「継続することがいかに大変か感じられました」「是非伺いたい」と歴史ファンの熱い思いを受け取りました。午後からは「おすすめの村の楽しみ方」と題し、楽しく和やかに村のPRをしてきました。



◆ 1月の体験プログラム

1月13日「冬の茶摘み体験！寒茶を作ろう」

1月25日・26日「冬の絶景！凍る滝を見に行こう～御船の滝・氷瀑」

新茶の季節での茶摘みは定番となってきましたが、今回は初めての取り組みで、苦みが少ないとされる寒い時期の茶葉を摘んでお茶にしました。工程は同じでも出来上がりの違いをそれぞれが感じていました。「今度は新茶の季節に参加する」と参加者は次の出会いを楽しみにしていました。

【問い合わせ先】

かわかみ源流ツーリズム TEL 52-0333

営業時間 9時～17時(水曜定休)

ウェブサイト→





かわかみ満足ガイド



吉野川・紀の川流域協議会

【問い合わせ先】 水源地課 Tel 5 2 - 0 1 1 1

○吉野川・紀の川流域協議会 20 周年記念事業

「吉野川流域－水源地の森」を訪れ、水環境を考える源流体験会

と き 3月22日（土） じかん 午前10時集合（午後4時頃解散予定）

ところ 吉野川流域－水源地の森（森と水の源流館 集合・解散）

参加費 無料 対 象 小学生以上

定 員 50人（申込多数の場合は抽選）

内 容 水源地の森トレッキング ※小雨決行

申 込 2月20日（木）までに、応募フォームより申込→



その他 当選者に限り、事務局（和歌山市企画政策課）から参加決定通知及び詳細を郵送

森と水の源流館

【問い合わせ先】 Tel 5 2 - 0 8 8 8

○第 11 回吉野川紀の川流域学習会

バスで和歌山市へ「四季の郷公園」をたずねて

和歌山市生活排水対策指導員さんとの交流

と き 3月25日（火） じかん 午前9時出発～午後5時頃帰村予定

ところ 川上村役場集合 参加費 2,000円（昼食付）

定 員 40名（申込多数の場合は抽選）

内 容 和歌山市へのバスツアー。民間のアイデアやノウハウを活かし運営されている「四季の郷公園」の見学、和歌山市民から選任されている生活排水対策指導員の皆さんと「きれいな水を流す」工夫についての情報交換会など。

申 込 2月28日（金）17時までに森と水の源流館までご連絡ください。

その他 当選者に限り、お電話の上参加票ハガキを郵送

○水源地の森ツアー

と き 3月20日（木・祝） じかん 午前9時30分～午後4時30分

対 象 村内在住在勤の小学生以上 参加費 一般2,700円・小中高生1,750円

場 所 吉野川源流－水源地の森（森と水の源流館集合・解散）

内 容 三之公地区にある村有林「吉野川源流－水源地の森」は500年以上も前から残されてきました。森は恵みの雨をたくわえ、川をつくり、あらゆる生命を育み支えています。先人たちが遺してきた自然と意思をしっかりと受け継ぎ、未来に手渡したいという川上村の想いが詰まった森を訪ねるガイドツアーです。

※参加費の一部は森守募金に寄付されます

※バス代は主催者が負担しています

※水源地の森は一般の方の入山をお断りしています

地域おこし協力隊活動報告会のお知らせ

川上村では、平成25年から地域おこし協力隊を採用しています。現在は6名の隊員が在籍しており、そのうち2名が今年度で3年の任期を終えます。これまでお世話になった方々への感謝も含め、活動の成果の報告と任期継続となる隊員への理解を深めてもらうことを目的に活動報告会を開催します。

と き 2月15日(土) **じかん** 午後1時30分～4時
ところ やまぶきホール **定 員** 300名 ※参加費無料

【問い合わせ先】 暮らし定住課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

空き家・自宅の将来に関する相談会のお知らせ

相続や処分など、お持ちの空き家・自宅の将来について、一緒に考えてみませんか？

空き家の専門家、役場担当者が個別に相談をお受けして、空き家の利活用や相続手続きなどに関するアドバイスをを行います。

と き 2月22日(土) **じかん** 午後1時～5時
ところ 川上村役場第1会議室 **対 象** 村内に空き家を所有する方やその関係者
定 員 先着6名 ※事前申込の方が優先 **参加費** 無料
申 込 2月21日(金) までに暮らし定住課にご連絡ください。
主 催 川上村 **協 力** 特定非営利活動法人空き家コンシェルジュ

【問い合わせ先】 暮らし定住課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

法律相談のお知らせ

社会福祉協議会では、奈良弁護士会から弁護士を派遣いただき、無料法律相談を実施いたします。お気軽にご利用ください。

※要予約・募集人数5名程度

と き 3月7日(金) **じ か ん** 午後1時～3時30分
と こ ろ 総合センター1階会議室 **申込期限** 2月27日(木) まで(期限厳守)

【問い合わせ先】 社会福祉協議会 TEL 5 2 - 0 2 9 4

子ども・子育て支援事業計画 パブリックコメントを実施します

令和7年度より施行される「第3期川上村子ども・子育て支援事業計画」策定にあたり、村民の皆さんの声を聞かせていただきたいと考えています。

つきましては、回答にご協力お願いし、皆さんの自由なご意見をお待ちしています。

目 的 「第3期川上村子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり村民の意見を取り入れ、より分かりやすい計画とするため自由に意見を募ります。

実施時期 2月上旬～下旬

公開場所 川上村役場 HP、川上村役場ロビー、こどもセンターあま☆ごん

回答方法 ホームページには回答フォーム、役場等には回答用紙と回収ボックス

【問い合わせ先】 健康福祉課 TEL 5 2 - 0 1 1 1

所得税の確定申告・村県民税の申告はお早めに！

期間：令和7年2月17日（月）～3月17日（月）

令和6年分の所得税の確定申告、令和7年度分の村県民税の申告の受付が始まります。所得税の確定申告をする方は、村県民税の申告は不要です。

また、公的年金等の収入金額が400万円以下であり、かつ、その年分の公的年金等にかかる雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には確定申告の必要はありません。

ただし、医療費控除などの所得税の還付を受ける方は、確定申告の必要があります。

【ご注意ください！】

「公的年金等の源泉徴収票」に記載されていない各種控除（生命保険料控除や医療費控除など）を受ける場合においては、村県民税（役場）の申告が必要です。

《吉野税務署で確定申告を希望される方へ》

- ・確定申告会場の開設期間は2月17日（月）～3月17日（月）まで。 ※土日・祝日は除く
- ・相談受付窓口は16時まで。混雑状況により早めに相談受付を終了する場合があります。
- ・会場への入場は「入場整理券」が必要です。LINEでの事前発行が便利です。
- ・確定申告会場では原則スマートフォンを利用した申告書の作成をしていただきますので、ご自身の『スマートフォン』と『マイナンバーカード』に加え、『マイナンバーカード取得時に設定した暗証番号（4桁・6桁以上）』をご持参ください。
- ・パソコンによる申告希望の方は、長時間お待ちいただく場合があります。
- ・ご自宅で作成された紙の申告書等の提出について、令和7年1月から申告書等の控えに収受日付印の押捺は行いませんので、ご注意ください。

【ご注意ください！】

「土地や建物等の譲渡所得」、「金地金などの総合譲渡」、「山林所得」、「贈与税」の相談は、専門担当者が従事している「曜日限定」での対応となります。

相談日：上の開設期間中の月・火・金曜日 ※3月4日（火）は除く

【問い合わせ先】

《所得税に関すること》 吉野税務署 TEL 0746-32-3385

《村県民税に関すること》 総務税務課 TEL 52-0111

診療所からのお知らせ

【整形外科診療日】

と き 3月12日（水） **受付時間** 午前8時30分～11時30分

【巡回診療日】

と き 2月25日（火） **受付時間** 午後2時～3時30分

と ころ ふれあいセンター（北和田）

※受診される方は保険証または資格確認書をご持参ください。

【問い合わせ先】 川上診療所 TEL 52-0344



児童手当制度改正に伴う申請についてのお知らせ

令和6年10月の児童手当制度改正に伴い、支給金額・支給対象児童が広がりました。

制度改正について詳しくは2024年広報9月号をご覧ください。

以下に該当する方は役場健康福祉課まで申請ください。

①高校生の児童のみを養育されている方。

②児童手当受給者に9月上旬に送付した「児童手当対象児童確認書」に記載の児童に誤りがある方。

※申請頂けない場合手当を支給することができません。必ず申請してください。

※単身赴任等で子の住所が村にない場合は村で把握しきれていない場合があります。ご注意ください。

【問い合わせ先】健康福祉課 TEL 52-0111

吉野広域行政組合「さくら苑」指定管理者公募のお知らせ

吉野三町村老人福祉施設「さくら苑」では、指定管理者制度を導入しています。令和8年4月1日より、新しい指定管理者のもと運営することとなり、この度指定管理者を公募することとなりました。

詳細については、吉野広域行政組合ホームページ (<http://www.yoshino-kouiki.jp>) をご確認ください。

【問い合わせ先】〒639-3112 吉野町大字立野 767 番地の2

吉野広域行政組合事務局 TEL 0746-39-9245

吉野消防署からのお知らせ

防ごう！ 住宅火災

奈良県広域消防組合管内では、昨年（令和6年）に266件の火災が発生しています。寒い季節となり火災件数は上昇傾向です。これ以上悲惨な火災を起こさないよう、自宅の防火対策は万全か、今一度見直しましょう。

◆住宅火災警報器

住宅火災における死者の大半は煙による一酸化炭素中毒を原因とした逃げ遅れによるものです。こうした逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報機の設置が義務付けられています。

→設置する必要がある場所…寝室、階段上、台所（任意）



◆感震ブレーカー

大地震発生時、火災の約6割が停電復旧後の通電による転倒・破損した器具や配線からの出火等が原因です。そういった電気火災対策には、自動で電気を遮断する感震ブレーカーが非常に有効的です。電気火災から命を守るために、感震ブレーカーの設置を検討してはいかがでしょうか？

◆住宅用消火器

消火器といえばお店などに設置されているイメージですが、住宅用の小型消火器もホームセンターなどで簡単に購入することができます。消火器は初期消火する上で非常に有効なものです。



**万が一初期消火ができず、炎が大きくなってしまった場合は
迷わず避難し、119番通報しましょう！**

【問い合わせ先】奈良県広域消防組合 吉野消防署

TEL 0746-32-0111



川上俳句会

森井美知代選

特選 穏やかな伊勢の海仰ぐ年始め

弓場 盛正(中 奥)

評 初詣の伊勢神宮にて名句を授かったことを讃えたい。今年の正月は穏やかな日和で海も凪ぎしており、水平線の遠くまで見渡せて良かったであろう。

特選 御神火のゆれる陰燈初太鼓

望月 彰美(迫)

評 作者は神社の奥様である。大勢の参拝者とともに、初太鼓を息を凝らして待つておられた。初太鼓の響きとともに御神火が揺れた瞬間を見逃さずに一句にまとめられた。

特選 真似ごとと言ひてなみなみ年の酒

辻 佐和子(吉野町)

評 温かい家族とともに、新年を迎えられた日本の風景である。亭主がにつこりと年の酒を注ぐ。女性は遠慮がちであるが、真似事と言われて出した盃になみなみ注いでもらった。家族愛があふれている。

準特選 正月の挨拶交す母と子と

辻井 清子(大 滝)

急ぐなといさめられけり初みくぢ

前田 景子(大 滝)

入選 大みそか子は大盛りの鯛茶漬け

松本 全代(大 滝)

希望をば持ち続けたき去年今年

上田 一郎(伯母谷)

選者吟 初祈禱天地に太鼓響かせて

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

かわかみらいふ通信



かわかみらいふ

TEL 54-0521

北和田ふれあいセンターをご利用ください！

どなたでもご利用していただけます。気軽にお立ち寄りください。

☆らいふミニミニコンビニ…カップ麺やお菓子、冷凍食品、アイスなどを販売！

☆コミュニティカフェ…コーヒー、ケーキ、菓子パン他

☆コピー機…白黒 5 円 / 1 枚、カラー 20 円 / 1 枚

☆卓球台…無料でご利用いただけます。もちろんラケット・球も貸出！

☆ふれあい図書館…定期的に村立図書館から入れ替えに来てれています

☆ごみ袋の販売…吉野広域行政組合指定ごみ袋各種

☆灯油の販売もしています(かわかみ S S と同じ価格です)

その他、ホールや調理室のご利用についてもご相談ください。

開館日 月曜日～金曜日(祝日も開館しています) 午前 9 時～午後 5 時

人事異動のお知らせ

◎退職 佐藤 充(水源地課副課長)

川上村身体障害者福祉協会より寄附金を賜りました



寄付金額 260,073 円

1月10日（金）、川上村身体障害者福祉協会（玉井久勝会長）の解散に伴い、寄附金を賜りました。

このお金は、身体障害者の福祉向上のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

はつらつ応援券のご利用は2月28日まで！

有効期限を過ぎますと無効となり、使用できません。
ご注意ください。

【問い合わせ先】健康福祉課 TEL 52-0111



節分の日、鬼に見立てた災害や病を屋外へ追い払うため、鬼の目を射る「煎り豆」を撒き、門戸に飾った柊と鰯のトゲと臭いで鬼の侵入を防ぐ。間違って玄関の内側に柊と鰯を飾ってしまうと、出るに出不れなくなった鬼が玄関で右往左往するので非常に危険だ。

鬼も嫌うトゲを持つヒイラギは、「触ると痒く木」が語源となっており、葉のトゲが鬼の目を刺して退散させることから「鬼の目突き」（川上村ではメツキバラ）の別名を持つ。ヒイラギは成長が遅く、草食動物の影響を受ける樹高では葉にトゲを持たせて身を守り、安全が確保される高さに達した老木の葉は丸くなる。季節の風習を大切に、豊かな暮らしを築くことで、ヒイラギのようにトゲが落とせる平穏な日々につなげたい。

ヒイラギ



かわかみの生き物

村の人口

1月31日現在

人口総数	1,194人（+6人）
男	568人（±0人）
女	626人（+6人）
世帯数	720世帯（+3世帯）

1月中の異動

転入	8人	転出	2人
出生	2人	死亡	2人



広報かわかみ

令和6年2月10日発行

発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会
〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
TEL 0746-1521011
ホームページ <https://www.vill.kawakami.nara.jp>
メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.jp

